

## 霧島山（新燃岳）の 噴火警戒レベル3（入山規制）が継続

霧島山（新燃岳）では、噴火活動が現在も継続しています。

現地調査によると、本日（1日）07時54分に新燃岳で発生した爆発的噴火により、大きな噴石が新燃岳火口から3 kmを超えて飛散していることを確認しました。

今後このような規模の大きな爆発的噴火が発生した場合、新燃岳火口から概ね4 kmまで飛散する恐れがあります。

このため、本日（1日）11時20分に火口周辺警報を発表（噴火警戒レベル3、入山規制、切り替え）し、大きな噴石に対する警戒範囲をこれまでの2 kmから4 kmへ拡大しました。

火口から概ね4 kmまでの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

火口から概ね3 kmまでの範囲では、火砕流にも警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、大きな空振に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

## 噴火予報・警報 第3号

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）

平成23年2月1日11時20分 福岡管区气象台・鹿児島地方气象台

\*\*（見出し）\*\*

<霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え>

新燃岳火口から概ね4kmまでの範囲で大きな噴石に警戒が必要。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

\*\*（本文）\*\*

### 1. 火山活動の状況及び予報警報事項

霧島市牧園支所によると、本日（1日）07時54分に新燃岳で発生した爆発的噴火により、大きな噴石が新燃岳火口から3kmを超えて飛散しているとの情報を得ました。

今後もこのような規模の大きな爆発的噴火が発生した場合、新燃岳火口から概ね4kmまで影響を及ぼす恐れがあります。

### 2. 対象市町村等

宮崎県：えびの市、小林市、高原町、都城市

鹿児島県：霧島市

### 3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね4kmまでの広い範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

火口から概ね3kmまでの広い範囲では、火砕流にも警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。また、大きな空振に注意が必要です。

<噴火警戒レベル3（入山規制）が継続>

＊ ＊（参考：噴火警戒レベルの説明）＊ ＊

【レベル５（避難）】：危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル４（避難準備）】：警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時  
要援護者の避難等が必要。

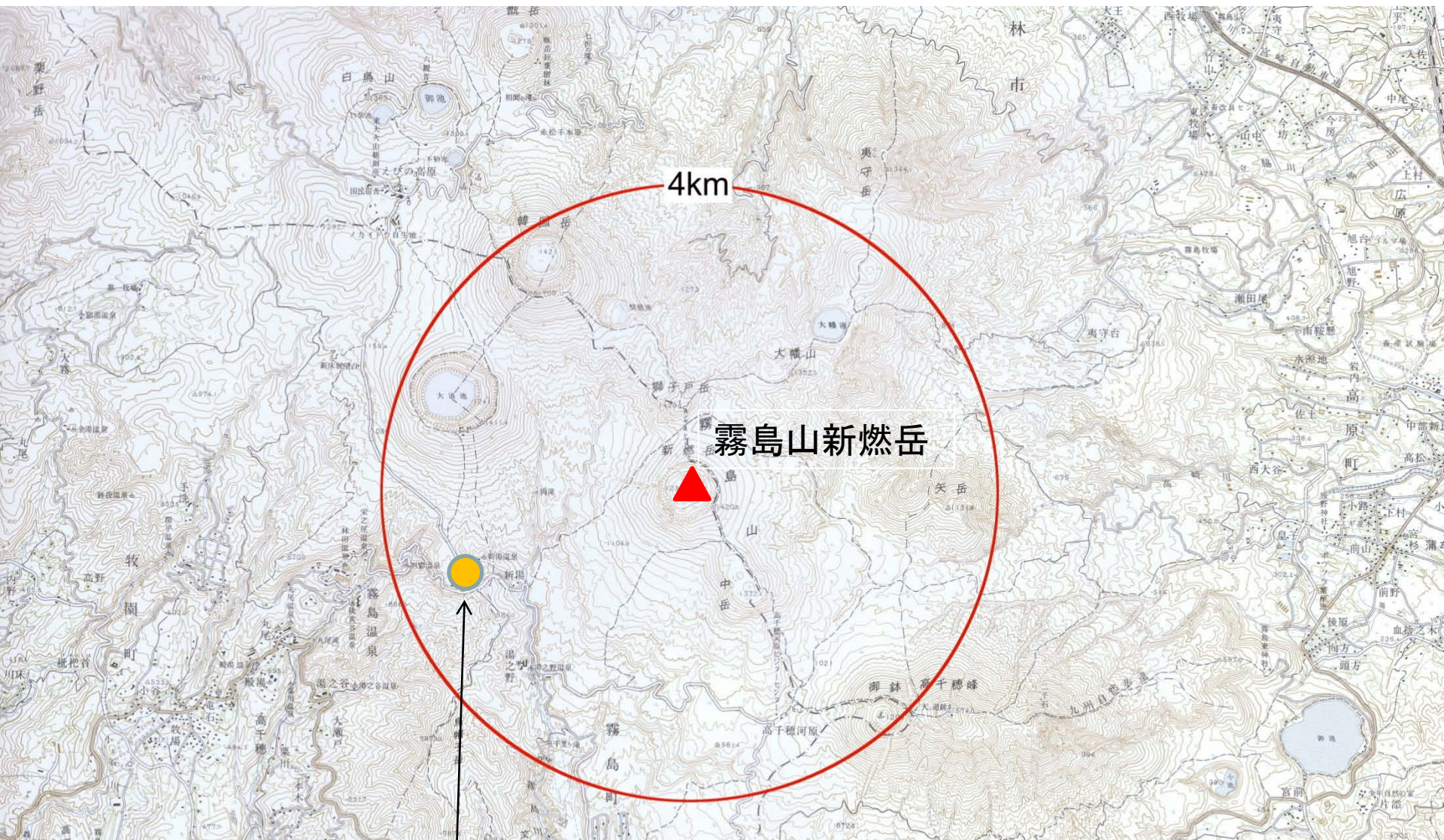
【レベル３（入山規制）】：登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制  
等。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。

【レベル２（火口周辺規制）】：火口周辺への立入規制等。

【レベル１（平常）】：火口内等への立入規制等。

（注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる）

（補足：平成１９年１２月１日から噴火予報・噴火警報を発表しています。  
今回の警報は、従来の臨時火山情報に相当します）



2月1日7時54分の爆発的噴火に伴う大きな噴石の確認位置  
(霧島山新燃岳の火口から概ね3.2km)



●噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

レベル5(避難) : 危険な居住地域からの避難

レベル4(避難準備) : 警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。

レベル3(入山規制) : 火口から概ね2km 以内立入禁止  
・新湯、湯之野、高千穂河原の縦走の各登山口、大幡山山頂、韓国岳山頂、中岳旧登山道入り口からの登山禁止

レベル2(火口周辺規制) : 火口から概ね1km 以内の立入禁止  
・新湯及び湯之野登山口、中岳山頂、獅子戸岳山頂、大幡山～新燃岳・獅子戸岳鞍部への登山道分岐、中岳旧及び新燃岳旧登山道入口の山頂付近立入り禁止

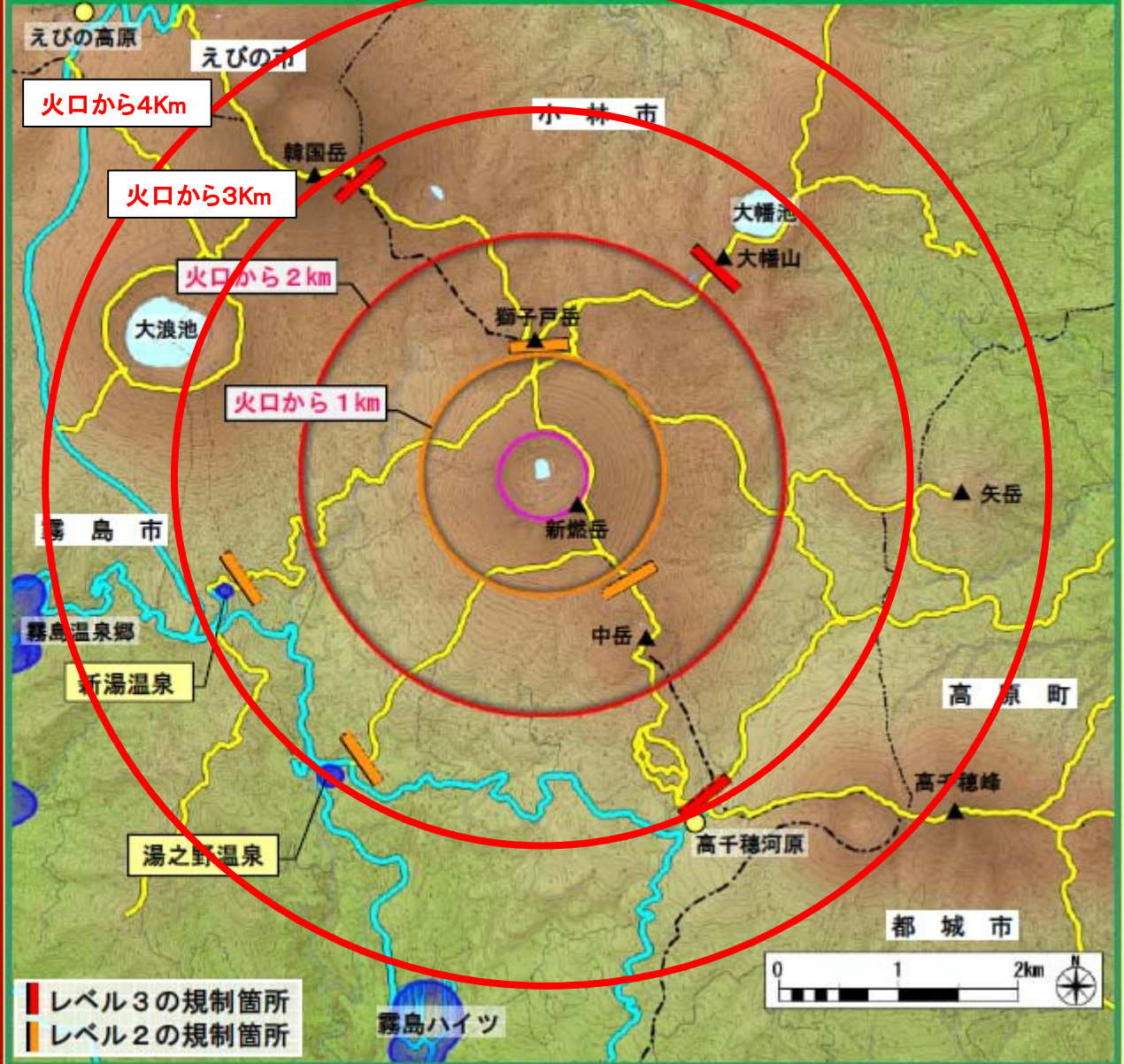
レベル1(平常) : 火口内及び火口の西側登山道の立入規制等

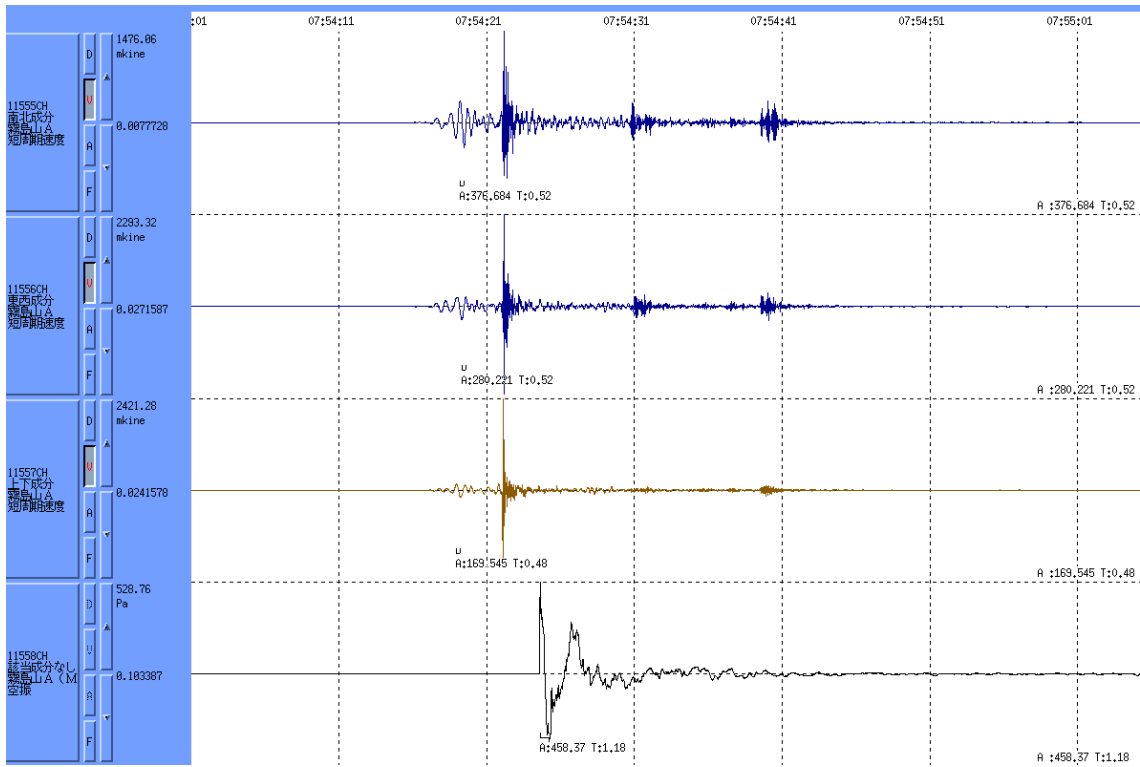
- : 一般道
- : 登山道
- : 新燃岳火口
- : 居住区域

■この図は、霧島火山防災検討委員会による噴火予測図をもとに、地元自治体と調整して作成しています。

■各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については宮崎県、小林市、えびの市、高原町、都城市、鹿児島県、霧島市にお問い合わせください。

## 霧島山(新燃岳) 噴火警戒レベルに対応した規制範囲





2011年2月1日07時54分 爆発的噴火の波形 (新燃岳南西観測点)

最大振幅 地震 : 376.7  $\mu$  m/s ; 空振 458.4Pa

## 降灰や風に流されて飛散する噴石、空振等に対する注意事項

(噴石、降灰について)

・爆発的噴火があったことを知った時や降灰が激しい時は、できるだけ屋内など飛散物を避けられる場所に移動し、噴石や降灰から身を守りましょう。

(降灰が激しい時には、昼間でも周囲が暗くなり、見通しが大変悪くなります。)

・降灰のある時には、外出を控えましょう。

・どうしても外出が必要な場合には、ヘルメットを着用するなどして、噴石から身を守りましょう。

・また、火山灰(特にぬれた場合)は車のスリップの原因になります。車の運転には十分注意しましょう。

(空振について)

・空振は火山の噴火などに伴って発生する空気の振動です。直接聞くことが難しいものですが、空気の激しい振動で窓ガラスが破損することがあります。火山に面した窓ガラスにはなるべく近づかないようにしましょう。

・窓ガラスを強化しておくことも有効です。

(泥石流、土石流について)

・降り積もった火山灰が雨に流されて、泥石流や土石流が発生する場合があります。

雨の降り方や気象情報に注意しましょう。

火山活動、降灰・噴石、気象に関して、地元自治体や気象庁が発表する最新の情報を入手するよう心がけてください。